

校長室だより

みなみ風



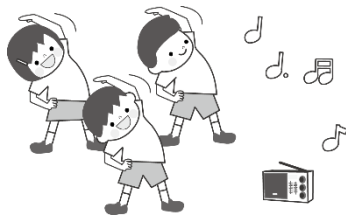
令和3年7月16日

No.4

夏休みの時間を生かして

近隣都県、また本県において、新型コロナウイルス感染者が再び増えているということが報道されています。四街道市も「警戒区域」に指定されるなど「第5波」が懸念される中ですが、保護者の皆様には、お変わりございませんでしょうか。

さて、7月21日から42日間の夏休みに入ります。外出自粛の影響から「おうち時間」の多い休みになるかと思われます。長期にわたる夏休み、この「おうち時間」をどう過ごすかは、とても大切なことと思います。私は、子供たちが「自分を律して、自身の学習・生活を整える力」を育む機会にしてほしいと考えます。学校が示した宿題なども、計画的に進めてほしいですが、子供たち自身が、自ら課題を見つけ、取り組み方を考え実行する、ということをつくも行ってほしいと思います。とはいえ、取り組みたい課題が、すぐに見つかるとは限りません。例えば、学習では学校から配付する様々なコンクールや作品展の募集要項から選ぶのもよいですし、自然や社会をテーマとした探究的・追究的な学習など、時間をかけて行う課題に取り組むのもよいと思います。生活に関



することなら、家族の一員としてできることやなわ跳び、歯磨きなどといった、健康・衛生に関わることを42日間続けて取り組んでみる、ということも考えられます。皆様におかれましては、ご自身の経験を思い出しながら、お子さんの相談にのっていただければと思います。子供たち自ら見つけた課題に取り組む経験、それは、学習指導要領が目指す、主体的な学びの姿勢そのものです。学校と家庭が同じ目標をもち、お子さんの成長を支えてまいりましょう。

この夏休みが、子供たちにとって充実した夏休みに、自らの課題に取り組み続けた、いつもと違う、特別な夏休みになるようにと考えます。長い夏休みだからこそできることに取り組み「おうち時間」が多かったことに打ち勝った「夏の思い出」をつくってほしいと願います。